



テーマ『奉仕の機会を広げようー人へ、地域へGO・GOー』

第55代会長 藤岡 秀樹



2020-21年度（55年度）所感

2015年4月末の入会以来、社会奉仕委員長(2016-17年度)、会場監督委員長(2018-19年度)を拝命し、クラブ運営に励みました。入会4年目、幹事未経験の私が指名委員会より第55代会長に推薦されたことは、「慣習として会長は幹事経験者から選ばれる」と聞いていましたので、青天の霹靂・驚愕し、不安と重圧を感じましたが、パスト会長並びに会員の皆様からの励ましにより、会長就任を決意しました。


当クラブは1966年に創立され55年目の節目の年を迎え創立55周年実行委員会を立ち上げ、委員長を関口英朗パスト会長にお願いしました。

年度が始まる前に創立記念事業として、青少年健全育成支援『東京国分寺RCカップ少年・少女サッカー大会』と記念式典及び41回の例会開催を計画しました。

2020年1月15日に国内で初めて新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の患者が確認され、その後日本全国に広がり感染者数も急増し2021年1月17日には2度目目の緊急事態宣言が発令されるという厳しい事態に至りました。

新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、創立55周年記念事業のひとつである『RCカップ少年・少女サッカー大会』は屋外での開催であること並びに万全な準備と会員及び関係者の協力により2020年11月8日に実施し、感染者を出すことなく無事終了することができ、ほっと胸を撫で下ろしました。一方、2021年5月に開催予定であった創立55周年記念式典は多くの人をホテルの閉じられた空間に集めることは、新型コロナウイルスに感染するリスクが高いと判断し、大変残念でしたがやむなく中止としました。その代わりとして、55年度最後の例会において創立55周年記念例会として四ヵ月ぶりに多摩信用金庫国分寺支店で簡素ながら心のこもった式典を開催することができました。

期初計画した例会開催41回が25回に終わるといふ厳しいクラブ運営を支えていただきました役員・理事、パスト会長、会員皆様、そして、幹事として大変苦勞された岡田俊介会員に心より感謝いたします。

 活動記録